

# 「安全報告書（2015）」



【日光湯元スキー場】

## 湯元スキーリフト

第2ペアリフト

第3ペアリフト

第5ペアリフト

東武興業株式会社

## 1. 利用者の皆様へ

日頃より日光湯元スキー場をご利用いただきますとともに、索道事業運営にご理解を賜り、誠にありがとうございます。

当社は、企業理念の第一に安全の確保を掲げ、運転取扱いや維持管理におけるコンプライアンス（法令遵守）を徹底し、お客様、スキー場関係者に対して安全・安心を確保することに努めております。

本報告書は、鉄道事業法に基づき、平成26年度の「輸送の安全確保」のための取り組みや安全の実態について、自ら振り返るとともに広くご理解いただくために公表するものであります。

皆さまからの声を輸送の安全に役立てるため、積極的なご意見を頂戴できれば幸いです。

東武興業株式会社  
取締役社長 佐藤 国夫

## 2. 安全方針と重点目標

### (1) 安全方針

当社の企業理念の第一は、安全最優先です。「安全方針」を次のように掲げ、社長以下従業員に周知、徹底しております。

- ①「安全は東武グループすべての事業の根幹である」との信念のもと「安全を最優先」し、「信頼される企業」を目指す。
- ②「東武グループコンプライアンス基本方針」に基づき、関係法令および規定等を遵守する。
- ③「安全対策に終わりはない」ことを念頭に置き、安全推進体制の継続的な見直しを進める。
- ④役職員一人ひとりが気づきの感度をたかめ、自ら考え、自ら行動することにより安全文化を創造していく。

### (2) 重点目標

当社の重点目標は次のとおりです。

1. リフト乗降時の声掛け実施による事故ゼロ達成
2. リフト緊急停止時の乗客の安全確保
3. 機器の確実な整備点検と点検時の労災防止

### 3. 事故等の発生状況とその再発防止措置

#### (1) 索道運転事故（索道人身障害事故）

平成26年度における索道運転事故はありませんでした。

#### (2) 災害（地震や暴風雨、豪雪等）

平成26年度における災害における運転停止はありませんでした。

なお、強風や悪天候による運転停止は安全確保のため、状況により実施致しました。

#### (3) インシデント（事故の兆候）

平成26年度における国土交通省へのインシデント報告はありませんでした。

### 4. 輸送の安全確保のための取組み

#### (1) 人材教育

当社では、輸送の安全確保のため、安全に関する社内の教育や、関東鋼索交通協会主催等社外の研修にも積極的に参加し、索道技術の向上や知識の習得に努めています。

平成26年度に実施または受講した主な教育等は次のとおりです。

#### (社内教育)

##### ① スキー場オープン前従業員研修（平成26年12月15日、16日）

スキー場従事者全員を対象に日光消防署講師による救急救命（心肺蘇生法、AEDの取扱い）実習、輸送の安全性向上に係る教育、事故事例研究、ヒヤリ、ハット事例に基づく事故防止研究、外部講師による安全講話等を実施致しました。



## ②応急下降訓練及び異常時連絡訓練（平成26年12月17日）

第5ペアリフトにおいて電気系統のトラブルにより運転不能となった場合を想定し、救助用具の機能および強度を点検するとともに、リフト担当者、パトロール隊員等スキー場従事者を対象に応急下降訓練及び無線機による異常時連絡訓練を実施致しました。



## （社外教育）

- ①索道技術管理員等講習会（平成26年6月5日、6日）栃木県 1名受講
- ②索道技術管理者研修会（平成26年9月8日、9日）横浜 1名受講
- ③雪上車両運転者講習会（平成26年11月7日）前橋 5名受講
- ④運輸事業の安全に関するシンポジウム（平成26年12月2日）東京 1名参加
- ⑤スキー場の安全対策に関する講習会（平成27年1月20日、21日）  
苗場プリンススキー場 2名受講

## （2）安全確保のための諸施策

当社では、安全の維持・向上のため、計画的に機器の整備や工事等を実施しております。

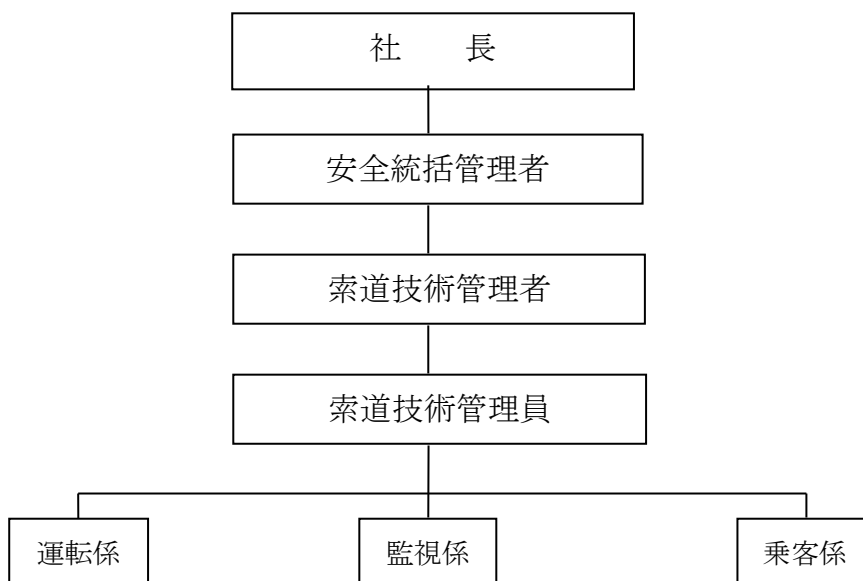
平成26年度に実施した主な整備・工事等は次のとおりです。

- ①風向風速計、風速計オーバーホール（5基）
- ②第2ペアリフト緊張油圧ユニット及びシリンダーオーバーホール
- ③第2ペアリフト電磁開閉器交換
- ④第3ペアリフト搬振止め、山麓ホーム単輪交換
- ⑤第5ペアリフト搬振止め交換
- ⑥その他整備

## （3）保安監査実施（平成27年2月9日、10日）

国土交通省関東運輸局鉄道部による保安監査が実施されました。  
指摘事項はありませんでした。

## 5. 安全管理体制図



社 長	輸送の安全確保に関する最終的な責任を負う。
安全統括管理者	索道事業の輸送の安全確保に関する業務を統括する。
索道技術管理者	安全統括管理者の指揮の下、索道の運行管理、索道施設の保守管理その他技術上の事項に関する業務を統括する。
索道技術管理員	索道技術管理者の下、索道の運行管理、索道施設の保守管理その他技術上の事項に関する業務を管理する。

## 6. 利用者の皆様へ

(1) 当社ではお客様起点としたサービスの提供に努めています。

皆様からお寄せいただいた貴重なご意見は、より信頼される索道事業運営に役立たせていただきます。

(2) お客様へお願い

今後とも、お客様が「安全・安心」に当社施設をご利用いただけるように社員一人ひとりが責任を持って快適なサービスを提供してまいります。

ご利用に際しましては、お客様の安全・索道の安全を確保するために、係員の指示に従って乗車下さいますようお願い申し上げます。

### (3) リフト乗降時の注意事項

#### 【乗車時】

- ①改札および乗車の際は係員の指示に従って下さい。
- ②指定の乗車位置でお待ち下さい。

#### 【乗車中】

- ①乗車中は搬器を揺らしたり、飛び降りたりしないで下さい。
- ②ストック等で支柱などに触れないで下さい。

#### 【降車時】

- ①降り場が近づいたらスキーの先端を上げ、降りる準備をして下さい。
- ②降りた後は止まらずにまっすぐ進んで下さい。

#### 【その他】

- ①係員の指示に従って下さい。
- ②乗降時に不安のある方は、事前に係員にお申し出下さい。
- ③その他ご不明な点がございましたら係員にお尋ね下さい。

## 7. お問い合わせ先

安全報告書へのご感想、当社の安全に対する取組み等へのご意見・ご要望その他お気づきの点がございましたら、下記にご連絡下さい。

〒131-0045

東京都墨田区押上2-18-12

東武興業株式会社

営業管理部

TEL 03-3625-5276

FAX 03-3625-5015

日光事務所

TEL 0288-53-0901

FAX 0288-53-0906